

法人（事業所）理念		「成長起点、人生にきっかけを。」											
支援方針		発達 の 土台をチームで支える「はじめの療育」 発達・成長の土台を“関わり”や“環境面”から整え、子どもの可能性の芽をみつけ、広げる											
営業時間		9時		0分から		18時		0分まで		送迎実施の有無		あり	なし
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	■「安心して生活する力」の土台作り ・子どもが安心して過ごせる生活リズムを整え替えや食事、排せつなどの基本的生活習慣を発達段階に合わせて練習を行う。 ・日々の活動のスケジュール、その他視覚支援ツールで実践しながら自立を促す。											
	運動・感覚	■身体を通して「できた」を感じる経験 ・目的のある遊びや活動を体験する中で、体・指先の動かし方、バランス感覚を楽しみながら整えるようにする。 ・安心できる環境の中で「楽しい」や「やってみたい」を引き出し活動への参加が自信につながるようにする。											
	認知・行動	■学びの基礎となる力を育てる ・スケジュールや全体指示を通して見通しをもてる関りを大切に安心して切り替えができるようにする。 ・ルールや順番の理解度に合わせ段階的に活動や遊びに取り入れ身につけていけるように支援を行う。											
	言語 コミュニケーション	■「伝わる」「わかってもらえる」体験 ・ことばだけでなく表情やしぐさも含めて思いの表出方法を一人一人にあった表現方法を育てる支援を行う。 ・安心できる環境の中で、「伝わった」「わかってもらえた」経験を積み重ね人との関り方、会話、距離感などを学べるようにしていく。											
	人間関係 社会性	■人と関わることへの安心感 ・安心できる大人との関係性づくりを土台に情緒の安定をはかりながら自己理解（好きな事・苦手な事など）やコントロール方法を見つけ実際に実施する。 ・遊びや活動を通して一緒にいることが「楽しい」や「安心できる」を大切に段階に合わせ人との関わり方を練習し人と関わる力を育てる支援を行う。											
家族支援		はじめ て の療育を利用する保護者の不安や思いを丁寧に受け止め一緒に関わり方や支援方法を考えおこなっていく。不安や疑問があった時などすぐに相談できる環境を整え「一人で抱えない」を大切に支援を行う。						移行支援		就学・進学・進級等の環境の変化に向けて、家庭・学校・関係機関と連携し、子どもが安心して次のステップへ移行できるよう支援を行う。			
地域支援・地域連携		家庭・園や学校・関係機関と連携し、情報共有を大切にしながら、子どもが安心して地域で生活できる力を育む。公共施設の利用や外出体験を通して、社会経験を広げる支援を行う。						職員の質の向上		定期的に行う全体会議や研修を通じて、職員の資質向上・支援の方向性の共有を行っている。また障がいへの理解・職員個人の能力向上を目的とした福祉専門eラーニングシステムを活用し、全スタッフ動画講座の受講を必須としている。			
主な行事等		■からだであそぶ！チャレンジデー：公園遊び・室内遊具遊び・プールなどで体と感覚を育てる。■つくって伝える！気持ちアート：制作活動を通して気持ちや好きなことを表現し、「伝わる」「聞いてもらえる」経験につなげる。■みんなでできるもん！：お友達とクッキング体験・工程のある活動に取り組み、見通しをもって行動する力や達成感を育てる。■ippoフレンドパーク：チームで楽しむ！協力ミッション・小集団での活動を通し、人と関わりながら一緒に取り組む経験を大切にする。■いっぽでGO：公園や地域施設での体験を通して、季節や環境への興味を広げる。											